

分園だより 第5号

令和2年12月24日(木)
幼保連携型認定こども園
津田このみ学園 三宅分園

つんとした冷たい空気に、ひんやりとした風。季節はすっかり冬ですね。
クリスマスの飾りでにぎやかな園内は、子どもたちのあたたかい笑顔で溢れています。

【2歳児 さくら組】

保育者や友達とお医者さんごっこをしている様子です。「次の方～」と患者を呼び症状を聞き、聴診器をあてたり、注射を打ったりとお医者さんになりきって遊ぶ姿が見られました。注射を打った後はガーゼを巻き、「お薬飲んでくださいね。お大事に～」と薬を渡していました。

子どもたちは自分が見たものや経験したことを再現しています。その姿を大切にしながら、一緒にごっこ遊びを楽しんでいきたいと思います。



【1歳児 ひまわり組】

散歩に行く時はいつもバギーに乗って行ったり、先生と手をつないで歩いて行ったりしていました。最近では歩行紐を持って集団で出掛けられるようになってきました。輪っかをしっかりと握り短い距離

ですが、行けるようになりました。また、地域の方とすれちがうと「こんにちは」と挨拶していたり横断歩道を渡る時は手を挙げて渡るようになっていたり成長している姿が見られました。これからも暖かい日には散歩に出掛けようと思います。



【0歳児 たんぽぽ組】

動きが活発になり、つかまり立ちやつたい歩きを繰り返し楽しみ、歩く足取りも随分としっかりしてきました。

トンネルの柱やポールにつかまって立っていた子ども達も、そこから手を放して立てる時間が伸びてきています。そして、周りに何も持つものがないところでも床に両手をつけて立つことも増えてきました。「いないないばあ」も子ども同士ですてて大笑いすることもあります。

日々できることが増え、子ども達は嬉しそうです。

